

■ 知事道政執行方針

I はじめに

平成22年第1回定例会の開会にあたり、道政執行への私の所信を申し上げます。

平成15年に北海道知事に就任して以来、私は、常に地域に軸足を置き、活力ある経済、安心して暮らせる社会の実現をめざし、道民の皆様とともに考え、行動する道政の展開に努めてまいりました。

「食」や「観光」のブランド化をはじめ、ものづくり産業の振興や基幹産業の体質強化、さらには、医療・福祉の提供体制の充実や環境と調和した社会の創造など、それぞれの地域の特性を活かしつつ、「新生北海道」づくりに全力で取り組んでまいりました。

この間、北海道は幾多の試練に直面しました。

特に、昨年、世界的な経済・金融危機の影響をはじめ、新型インフルエンザの発生、さらには老舗百貨店の廃業や夏

の天候不順による農作物被害など、大変厳しい一年となりました。

こうした困難を克服するため、私は、多くの方々の力を結集し、経済・雇用対策をはじめ、道民の皆様の命と暮らしを守る対策を切れ目なく講じてきました。

このような中、道内においては、新たな官民の協働、産学官や農商工の連携による取組が活発化するなど、厳しい現状を乗り越え、自ら将来を切り拓こうとする様々な動きも広がりを見せてきています。

一方、国内外においては、政治、行政、さらには経済といった面で大きな変革が進むなど、世界全体が時代の転換期を迎える中で、北海道を取り巻く環境も、日々変化していることを強く感じます。

今、私たちに求められているのは、大きな時代のうねりに翻弄されることなく、むしろ、その波を積極的にとらえて、地域に芽吹いた様々な動きを大切に育てながら、北海道を新たな成長軌道へと乗せていくことです。

この北海道こそが、変革の時代において大きく飛躍する可能性に満ちた地域である、私はそのように確信をしており、引き続き「新生北海道」の実現をめざし、全力を尽くしてまいる決意であります。

道民の皆様、道議会議員の皆様の一層のご理解とご協力を
お願い申し上げます。